

2020 年度事業計画書

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

公益財団法人日工組社会安全研究財団

市民生活の安全と平穏を確保する上で解決すべき諸問題に関する調査研究・広報啓発・フォーラムの開催等並びにこれらの事業を行う団体等に対する助成を行う。

1 研究事業

(1) パチンコ・パチスロ遊技障害に関する調査研究（継続事業）

上半期には、遊技障害の予防・低減に資するために実施したパネル調査の分析を進め、学術誌へ投稿を行う。

下半期には、上記パネル調査の分析結果を含め、これまでのパチンコ・パチスロ遊技障害の研究成果をとりまとめた最終報告書を作成する。

(2) 子供・女性に対する犯罪被害の防止に関する調査研究（新規事業）

公共空間において行われる子供・女性に対する性犯罪等の前兆事案等について「場所」の特性に着目した調査・研究を行い、子供・女性に対する犯罪を防止するための情報収集・分析と具体的対策について検討する。調査・研究の結果は報告書として刊行する。

(3) シンガポール警察におけるロボット等に関する調査研究（新規事業）

交番等勤務員への襲撃事案、進行型(無差別)殺傷事案の脅威の高まりの中で、地域警察官のこの種事案対処能力向上、パトロール等街頭活動の強化が期待されている。

そのため、多岐にわたる地域警察官の業務の合理化省力化が一つ課題となっているが、その手法として、ロボット、AI の活用が考えられる。

シンガポール警察においては、ロボットを活用した拾得物自動預入システムの運用等を行っていることから、それらの運用状況、運用上の課題等について実地調査するものである。

2 安全事業

(1) 第 29 回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」(継続事業)

標記のコンクール及び表彰式を当年度第 3 四半期に実施する。

(読売新聞社、(公社)全国少年警察ボランティア協会との共催)

(2) 社会安全フォーラムの開催（継続事業）

電気通信サービスの高度化・多様化・複雑化により、プリペイド式携帯電話、

SIMカード、レンタル式携帯電話等多様なサービスが提供されるようになってい
る。それらの電話サービスが、非対面で会話ができる特性から、特殊詐欺等の犯罪
ツールとして悪用されて来た。このような状況に対し、各種の規制がなされるもの
の、それらの規制に対応して悪用の形態もまた変化してきた。

規制や対策の抜け道に対して、効果的な対応策を迅速に講じていくためには、不正
利用の実態を的確に把握した上で、官民が一体となった取り組みが重要である。

こうした情勢を踏まえ、法曹界、民間事業者、警察等から専門家を招聘し、「犯罪
ツール対策の現状と課題について——犯罪に利用される電話への対策を中心に」と
題するフォーラムを開催する。本フォーラムでは、特殊詐欺等の犯罪における不正
利用の新たな実態、そうした利用への対応策、犯罪利益を得られない仕組みづくり
についての議論を深め、効果的な対策のあり方を探る。

(警察政策研究センターとの共催)

3 助成事業

(1) 研究助成（継続事業）

安全問題に関する領域を対象とした研究に対する助成を行う。当年度は、研究助
成選考委員会（2020年1月27日開催）の審査を経た表1「2020年度 研究助成対
象」記載の一般研究4件、若手研究5件に対して助成を行う。

(2) 広域安全事業に対する助成（継続事業）

国際間及び国内において複数の都道府県にわたって行われる犯罪の予防活
動・少年非行防止・被害者支援等の活動を対象とする各種事業に対して助成を行
う。当年度は、安全事業助成選考委員会（2020年1月31日開催）の審査を経た表2
「2020年度 広域安全事業 助成対象」記載の16事業に対して助成を行う。

(3) 県域安全事業に対する助成（継続事業）

1つの都道府県の域内において、複数の市町村にわたって行われる上記イ記載の
活動を対象とする各種事業に対して助成を行う。当年度は、安全事業助成選考委員
会（2020年1月31日開催）の審査を経た表3「2020年度 県域安全事業 助成対
象」記載の4事業に対して助成を行う。

(4) 暴力団排除事業に対する助成（継続事業）

暴力団を社会から排除するための活動のうち、地域の住民で構成する団体が主体
となって行われるものに対する助成を通年募集により行う。

(5) 大規模災害発生時における防犯活動緊急支援助成（継続事業）

近年、地震、大水害、土砂崩れ等の大規模な自然災害が相次いで発生しているが、危険回避のための住民避難が長期化する場合、警察等が実施する避難地域の治安維持活動に加えて、民間の団体による防犯活動の必要性も大いに求められている。この要望に応えるため、東日本大震災特別助成の実績を踏まえ、大規模災害の発生前後にかかわらず、防犯活動を行う助成対象団体を募集、登録し、大規模災害発生時には助成申請に対応した当該防犯活動に必要な資機材の助成を行う。

表 1

2020年度 研究助成対象

<一般研究助成>

五十音順 (単位:円)

	研究代表者	所属	研究テーマ	助成額
1	小畑 千晴	岡山県立大学 地域共同研究機構 客員准教授	ストーカー行為未然防止のための調査研究	950,000
2	桐生 正幸	東洋大学社会学部 教授	未就学児に対する妖怪を用いた防犯教育絵本の作成—SNSが関わる犯罪予防を中心に—	2,905,000
3	古川 隆司	追手門学院大学社会学部 准教授	高齢者をめぐる家族内殺人のアフターケアと社会復帰に関する福祉・介護事業者に対する実態調査研究	600,000
4	山脇 望美	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 研究員	自閉スペクトラム症傾向の性犯罪者の子どもへの性的関心に関する研究	2,573,000

一般研究助成額合計 7,028,000

<若手研究助成>

	氏名	所属	研究テーマ	助成額
1	今井 聖	立教大学文学研究科 博士課程後期課程	子どもの自死をめぐる事実認定とその補償に関する研究	1,000,000
2	谷 真如	法務省東京保護観察所 保護観察官 筑波大学大学院システム情報工学研究科 博士前期課程	刑務所出所者の居住地の地理空間情報を用いた再犯予測モデルの構築	998,700
3	唐 音啓	東京大学大学院教育学研究科 博士課程後期	中学生の集団いじめ予防に関連する要因の検討—学級の「人気者」に注目して—	803,500
4	星 あづさ	法務省矯正局名古屋刑務所 心理技官	性犯罪者における女性への攻撃性および社会的情報処理について ～愛着スタイルとの関連から～	999,600
5	山梨 光貴	中央大学大学院法学研究科 博士課程後期課程	犯罪者の社会復帰を阻害する要因およびその克服に関する研究	1,000,000

若手研究助成額合計 4,801,800

※ 一般・若手研究助成額合計 11,829,800

表2

2020年度 広域安全事業 助成対象

(単位:円)

	事業名	実施団体名	申請額	助成額
女性等を守る対策				
1	デートDV電話相談事業および相談員養成事業	認NPO エンパワメントかながわ	1,868,000	1,600,000
2	虐待、性犯罪被害女子の保護・自立支援及びシェルター運営事業	(一社)Colabo	3,000,000	2,520,000
3	DV・性暴力被害女性と子どもの支援及びシェルター運営事業	認NPO 女性と子ども支援センター ウイメンズネット・こうべ	2,300,000	1,820,000
4	10代20代女性の犯罪被害防止事業	NPO BOND プロジェクト	2,526,000	500,000
5	性暴力被害者の支援事業	NPO レイブクライシスセンターTSUBOMI	1,650,000	600,000
少年の非行防止と健全育成				
6	季刊誌「青少年問題」の刊行	(一財)青少年問題研究会	1,600,000	1,600,000
7	全国少年警察学生ボランティア研修会	(公社)全国少年警察ボランティア協会	2,700,000	2,500,000
8	不登校・いじめの専門紙『不登校新聞』の発行と無償送付事業	NPO 全国不登校新聞社	1,300,000	1,220,000
薬物乱用防止対策				
9	薬物事犯者に対する回復支援コーディネート事業	NPO アジア太平洋地域アディクション研究所	2,000,000	1,400,000
10	薬物問題に係わる民間団体活動の活性化	NPO 全国薬物依存症者家族会連合会	980,780	980,000
11	薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発資材の作成	(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	1,600,000	1,400,000
犯罪被害者支援				
12	犯罪被害者等支援のための小冊子及びポスターの作成配布	(公財)犯罪被害者支援基金	2,000,000	1,000,000
出所者の再犯防止対策				
13	刑事施設経験者が社会で生きる力をつける再犯防止プログラム	NPO マザーハウス	3,000,000	2,300,000
犯罪情勢に対応した対策				
14	第28回海外安全対策会議	(公財)公共政策調査会	2,157,840	2,150,000
15	防犯CSR活動促進冊子作成事業	(公財)全国防犯協会連合会	3,000,000	3,000,000
16	万引・内部不正防止を目的とした従業員教育用冊子の制作と配布	NPO 全国万引犯罪防止機構	2,700,000	1,000,000
事業数合計 (16事業)			34,382,620	25,590,000

注) 団体名の略称は以下のとおりです。

(公財)…公益財団法人 (公社)…公益社団法人 (一財)…一般財団法人 (一社)…一般社団法人
認NPO…認定特定非営利活動法人 NPO…特定非営利活動法人

表 3

2020年度 県域安全事業 助成対象

(単位:円)

	事業名	実施団体名(都道府県名)	申請額	助成額
地域社会との連携による安全・安心なまちづくり				
1	高校生、大学生によるエンタテインメント安全啓発事業の実施	NPO SoELa(神奈川県)	506,000	130,000
2	「還付金詐欺撲滅」および「自転車前かごカバー」普及活動	NPO チーム・スピリット(大阪府)	500,000	500,000
女性等を守る対策				
3	DV等被害女性と子どもの一時保護における安全と安心の支援	認NPO ひこばえ(群馬県)	760,000	700,000
出所者の再犯防止対策				
4	矯正施設出所者の社会生活維持のための宿所提供事業	NPO 風の家(広島県)	1,000,000	1,000,000
事業数合計(4事業)			合計金額	
			2,766,000	2,330,000

注) 団体名の略称は以下のとおりです。

認NPO…認定特定非営利活動法人 NPO…特定非営利活動法人

広域安全事業	25,590,000 円
県域安全事業	2,330,000 円
合計	27,920,000 円